

くま小通信

第6号 令和5年6月21日

名古屋市立熊の前小学校

名古屋市緑区亀が洞一丁目901番地

TEL: 052-878-1600

<http://www.kumanomae-e.nagoya-c.ed.jp>

各記事と「学校教育目標」(第1号参照)の関連を、次のように文末に示しています。

(1) 基礎基本を身に付け、自ら学ぶ力を備えた子の育成→【①自ら学ぶ力】

(2) 思いやりの心・社会の一員としての自覚を備えた子の育成→【②思いやり・社会性】

(3) 生涯にわたって健康に過ごすための心身を備えた子の育成→【③心身の健康】

戻ってきた運動会！

5月27日(土)に、4年ぶりとなる全校そろっての運動会を開催しました。朝から気持ちの良い快晴で、体操服で登校する子どもたちは、やる気満々の様子で「おはようございます!」「先生、今日の運動会楽しみなんだ!」と元気のいい挨拶をしてくれました。

どの学年の競技も表現運動も、見応えがありました。何より、くま小の子どもたち全員でそれぞれの学年の競技を応援したり、表現運動を見たりできたことが、一番うれしかったです。低学年の子の表現運動を見て、「かわいい!」「がんばって!」と声援を送る高学年。高学年のかっこいい表現運動や、競技に真剣に取り組む姿に、「お姉さんお兄さんたちすごい!」「こんなかっこいい高学年になりたい!」とあこがれる低学年。テレビ越しではなく、生で、目の前で見ることのできるその場の空気感や盛り上がり。「やっぱり全校そろっての運動会がいい!」「みんなでやれてよかった!」と感じた運動会でした。今回のくま小通信では、それぞれの学年の頑張りを紹介したいと思います。

配付したくま小通信をご覧ください

1年生「ダンシング玉入れ」

1年生にとっては、小学校初めての運動会。ダンスを覚えるだけでなく、並び順や並ぶ場所、移動する順番など、覚えることがいっぱい!先生が「今自分がいる場所を覚えるために、目印になるものを探そう。目の前に何が見えるかな」と言うと、「ジャングルジム!」「黄色い鉄棒!」などと、目印になるものを見つけては、自分の場所を覚えようと一生懸命でした。練習を重ねるごとに、場所もダンスもしっかり覚えてスムーズに動けるようになっていく1年生。すごいな、頑張っているな、本番が楽しみだなと思っていました。玉入れも、練習するたびに上手に玉を入れられるようになり、本番は、なんとまさかの46対46の同点でした!

配付したくま小通信をご覧ください

2年生「ころころころがせ!元気玉」

2年生は、「ミックスナッツ」の曲に合わせてノリノリのダンスを見せてくれました。給食のときに、放送でこの曲が流れてくると、食べながら腕だけダンスをする子どもたち。掃除の時間、歌を口ずさみながら掃除をする子もいて、曲もダンスも気に入ったんだなと思い、ほほえましかったです。本番も楽しそうに笑顔でダンスをし、最後は一人一人が自分で考えたかっこいいポーズで決めてくれました。

大玉転がしでは、チームで協力して素早く大玉を転がしました。自分の番でないときに、仲間を応援する姿が見られ、すてきでした。

配付したくま小通信をご覧ください

3年生「つな引き」

3年生は、「新時代」というアップテンポな曲に挑戦！膝でリズムを取りながらカッコいい表現運動を見せてくれました。曲が速いので、動きをそろえるのが難しいのですが、前後の隊形移動もばっちりでした。さすが3年生！

つな引きでは、どうすれば勝てるのか、みんなで考えました。一人一人が力いっぱい綱を引っ張るのは、もちろん大事なのですが、その引っ張るタイミングをそろえるといいということ学びました。赤白ともに、腰を低くして、みんなで息を合わせて、力強く引っ張り合い、白熱した勝負が繰り広げられました。

配付したくま小通信をご覧ください

4年生「Are you ready? (台風の目)」

4年生は、「学園天国」という懐かしい曲ながら、どの世代も楽しめる曲に合わせて工夫たっぷりの表現運動を見せてくれました。「ヘーイ ヘーイ ヘーイ ヘーイ ヘーイ！」と流れると、つい「ヘーイ ヘーイ ヘーイ ヘーイ！」と言いたくなります。曲に合わせて止まったり、隊形を移動したり、静と動の動きがとてまかつこよかったです！

台風の目では、どうすれば速くコーンを回れるのか、どうすれば棒を素早くみんなで跳べるのか、何度も練習を重ねました。

「コーンの内側の子は、棒をしっかり持って踏ん張り、外側の子は、速く走ろう。」「タイミングよく棒を跳んでいけるよう、みんなで集中しよう。」など、自分たちで考えて競技に臨むその姿勢がすばらしかったです。

配付したくま小通信をご覧ください

5年生「棒引き」

5年生は、カッコいいソーラン節を見せてくれました。「構え！」の声掛けでピタッとポーズを決め、「どっこいしょー、どっこいしょー」「ソーラン、ソーラン」と大きな声を出して体全体で表現する姿に、低学年の子はあこがれを感じたはず。予行練習よりも大きな声が出ていて、胸が熱くなりました。

棒引きは、頭脳戦です。どの棒を引くか、最後まで粘るか諦めて次の棒を狙うか、瞬時に考え素早く動く、高学年らしい競技です。誰かが転んで笛がなったら、一度止め、体勢が整ったところで再度引き合うという、安全のためのルールもしっかりと守り、正々堂々と戦う子どもたちの姿は、最高でした。

配付したくま小通信をご覧ください

6年生「騎馬戦」

6年生にとっては、最後の運動会！「全力で楽しみたい！」と思って臨んだ子が多かったのではないのでしょうか。隣の子の動きを見て動いていくウェーブを取り入れた表現運動。体全体で大きく表現できていました。そして、騎馬戦。味方の騎馬をどういう配置にするとよいのかを調べてみんなにプレゼンする子もいて、騎馬戦に対する熱い思いを感じました。みんなの熱さが伝わり、団体戦も一騎打ちも大将戦も大いに盛り上がりました。

6年生の活躍は、これだけではありません。運動会をスムーズに進行するために、素早く器具の出し入れをする器具係や短距離走の1着の子を旗まで案内する決勝審判係、プログラムを読む放送係など、それぞれがそれぞれの場所できびきびと動き、運動会を支えてくれました。6年生のみなさん、本当にありがとう！

配付したくま小通信をご覧ください

保護者の皆様は、運動会をどのように感じられたでしょうか。第8号では、運動会アンケートの結果をお知らせします。